

イノベーションコアとしての大学 —博士の活躍の場と産学官連携—

大阪大学先端科学イノベーションセンター
兼松泰男

NISTEP講演会
2010年4月22日

なぜ産学官連携？

なぜ特許？

なぜベンチャー？

なぜ大学院重点化？

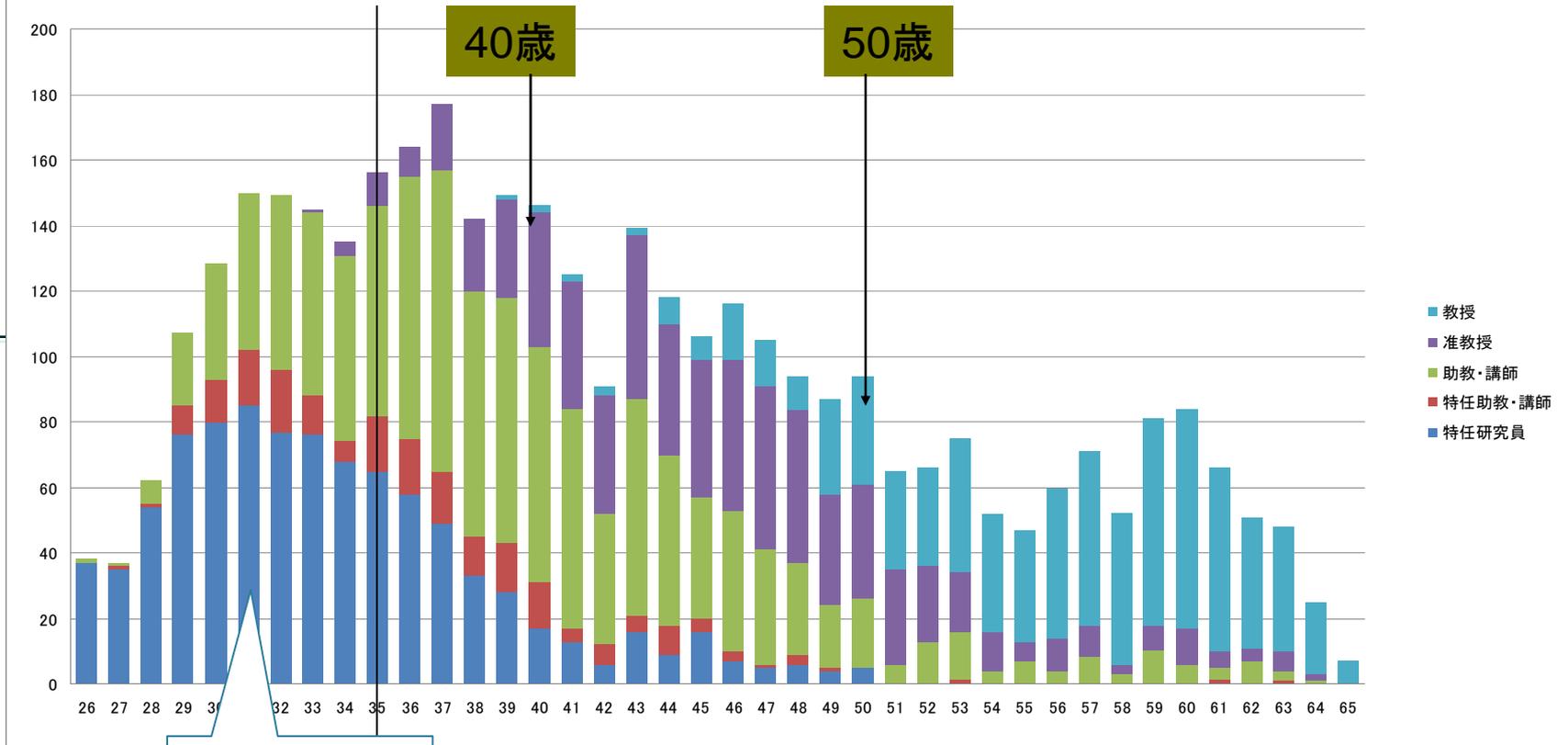
なぜポスドクキャリア支援？

なぜイノベーション？

大学が、なぜ？

大阪大学における研究者構成

2007年度 全分野年齢別職務分布



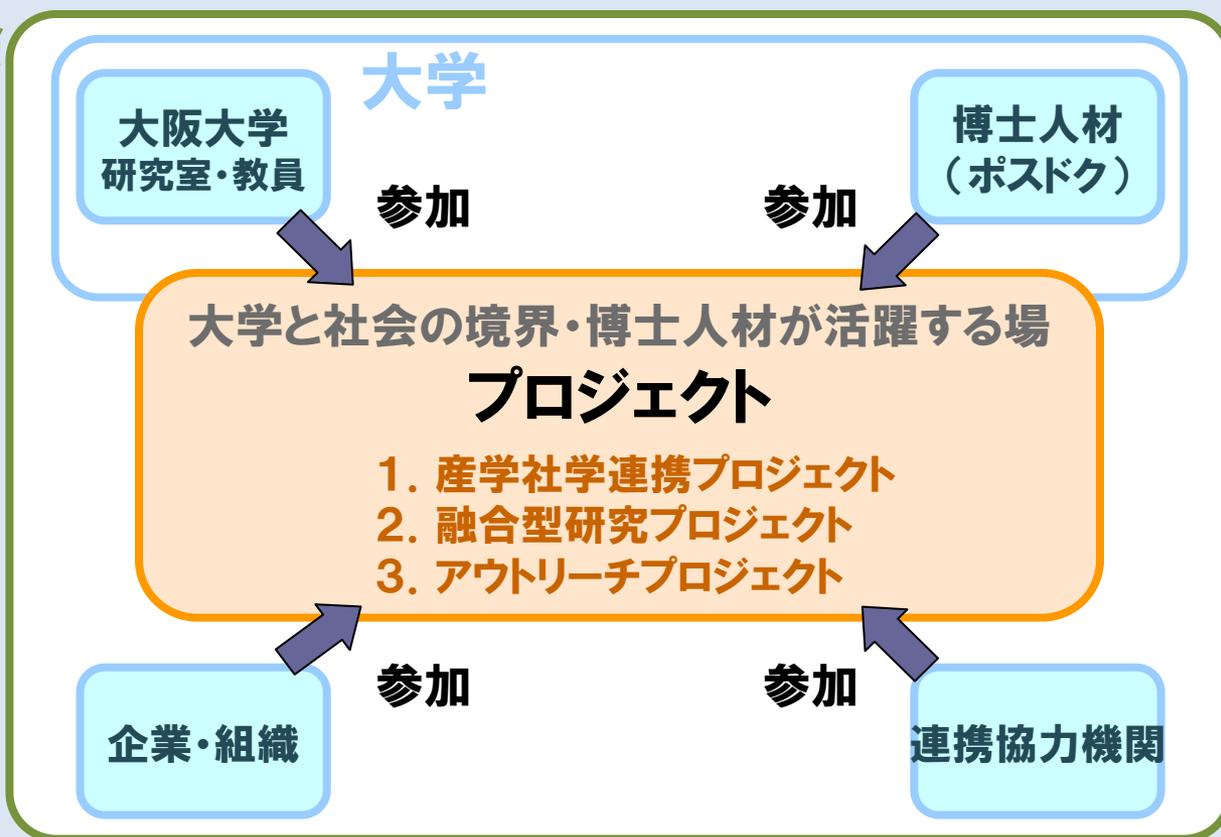
ポストドク

プロジェクト活用型科学技術キャリア創生モデル事業

科学技術キャリア創生支援室設置

大学とその周辺を拠点に、社会の潜在ニーズを掘り起こし、それに応じて博士が活躍する場を構築していく。

社会



バリューチェーン

大阪大学

インダストリー

技術移転

リサーチ
コンソーシアム

プレベンチャー

スタートアップ

・シーズ発掘・創生

・事業化志向
研究開発
・知財創生

・インキュベーション

・事業展開

・ベンチャー
サポートプログラム
・医工経連携
プログラム

・スタートアップ
支援室

・彩都バイオ
インキュベーター

・青い銀杏の会
(阪大発ベンチャーの会)

人材育成・輩出

阪大独自の仕組み： 共同研究講座・部門 (Industry on Campus)

阪大
研究者・施設・設備等を提供

産業界等
資金・研究者・研究資料等を提供

共同研究講座・共同研究部門

- 2年から10年の設置
- 共同研究に専念
- 知的財産の活用を重視した取決め
- 出資企業と大学が協議して運営

・大阪大学
・出資企業(出向)
・その他の機関

教授又は准教授 1名
(准教授～助教) 1名
.....
企業研究者
ポスドク、大学院生
兼任教授、准教授 etc.
事務員

選考

大阪大学独自の
仕組み

大阪大学 カネカ エネルギーソリューション共同研究部門

【背景】

☞ 省エネルギー・省資源・CO₂削減など

環境保全に貢献できるモノづくりを基盤

ターゲット材料：低エネルギー製造プロセスが期待できる有機半導体、
有機電子材料に着目

ターゲット製品：・面発光有機EL照明デバイス
・無機Si・有機ハイブリッド高変換効率太陽電池



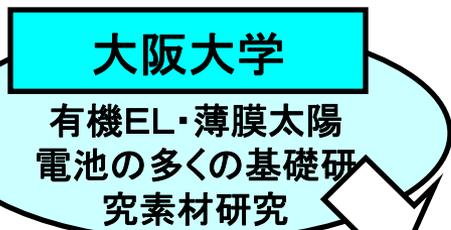
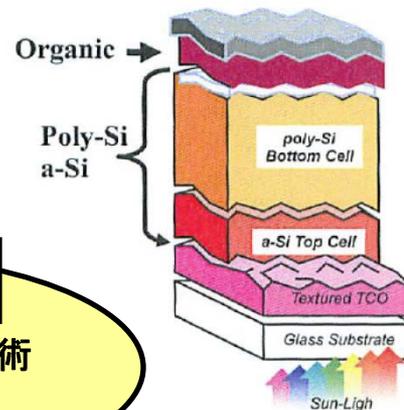
SONY 有機ELディスプレイ(LED-L)



大阪大学 カネカ エネルギーソリューション共同研究部門

【設置の意義】

有機電子デバイス開発をエネルギーソリューションの視点から研究開発



4名



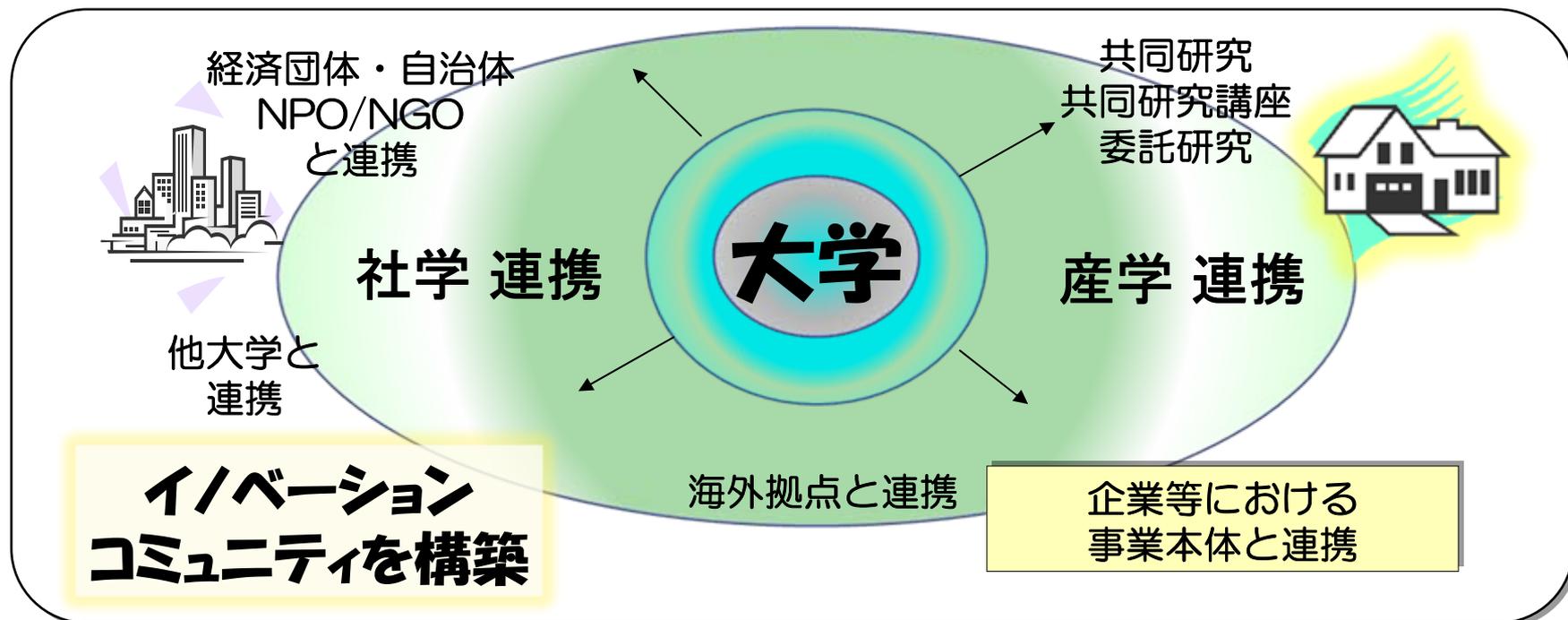
4～名



効率よい産学共同研究により省電力技術としての次世代有機EL照明デバイスとクリーンエネルギーを生み出す高効率薄膜太陽電池技術を開発して、“エネルギーソリューション”を提供

イノベーションコアとしての大学

「若手人材の活躍の場」を大学等研究機関のみ(現状)から
大学とその周辺を拠点に広く社会へ(将来)



課題

大学院改革(新たなモードへの理解と対応)、人材育成
本各的な共同研究プロジェクト、フィールドワーク
社会との対話と協働の育成、イノベーションの場
国際的な展開・グローバルベンチャー創生

なぜ産学官連携？

なぜ特許？

なぜベンチャー？

社会貢献のための機能実現

企業による事業展開

ギャップ領域をブリッジ

なぜ大学院重点化？

なぜポストクキャリア支援？

知識社会への飛躍

キャリア支援ではなく場の形成

なぜイノベーション？

社会的な課題へのインパクト

大学が、なぜ？

新しい時代の大学のあり方

共同研究ユニット群（共同研究講座等）

国内外の研究開発型企业群（ベンチャー、新規事業ユニット等）

インターフェースゾーンにおける活躍の場の創出（雇用）が鍵